

地理歴史科（地理総合）学習指導案

令和 6(2024)年 6 月 6 日 6 限

2 年 D 組（生徒数：40 名）

授業者：

指導教諭：

場所：社会科教室

1. 単元名：結び付きを深める現代世界—グローバル化する世界—

2. 単元観：現代世界では国家を単位として多くの国々が連携・協力し、国際社会を築いている。交通や通信が発達し、観光客が増えたり貿易が拡大したりしたことによって、国際社会におけるヒト・モノ・カネの動きはどのように変化し、身近な地域の様子はどのように変化したのだろうか。また、グローバル化に伴い、貿易や交通、通信、観光など世界の国々を結び付ける要素には変化がみられる。世界の国々は、これらの要素によってどのように結びついているのだろうか。この単元では、国際社会における国家の役割を理解するとともに、位置や分布などに着目しながら、地域間のさまざまな相互関係について考えていく。

3. 指導計画：1. 国家間の結び付き(1 時間)

2. 貿易によって結び付く世界(1 時間)

3. さまざまな交通網の発達(0.5 時間)

4. 世界を結ぶ通信網の発達(0.5 時間)

5. 観光のグローバル化(1 時間)

※3, 4 を合わせて 1 時間で実施。

4. 指導目標：グローバル化により、観光はどのように変化したのかを理解させる。

※授業目標：グローバル化により、観光がどう変化してきたのかを理解しよう

5. 生徒観：2D の生徒たちは、文系クラスである。まじめな生徒が多く、勉強に対して前向きである。しかし、発問をしても個人で考える場合が多い。そのため、積極的に意見交流をするように促す工夫を行う必要がある。

6. 評価基準

a) 知識・技能：観光消費に関する特徴をグラフから読み取ることができる。

b) 思考・判断・表現等：グローバル化により、観光がどのように変化したかを文章にまとめることができる。

c) 主体的に学習に取り組む態度：積極的に周囲の生徒と意見交流を行うことができる。

7. 資料名：戸井田克己他(2022)高等学校 新地理総合. 帝国書院

帝国書院編集部編(2024)新詳地理資料 COMPLETE 2024. 帝国書院

8. 本時の展開

○または・学習内容 ●発問 ☆生徒の反応の例 ◇発問の解答例

		学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価項目
導入	5 分	・前回の復習	前回は、交通網について学習した。航空交通、海上交通、陸上交通にそれぞれ		

		<ul style="list-style-type: none"> 観光がグローバル化していること知る 授業目標の提示 	れの特徴についてまとめた。 観光地(京都)の写真を提示する。 ●この写真を見て、どんなことが分かるか？ ☆人がいっぱい、海外の人がいるなど →海外の人が、多くいることに注目して話を進める。	写真が見えやすいように電気を消す。	
		目標：グローバル化により、観光がどう変化してきたのかを理解しよう			
展開	23分	＜観光のグローバル化＞			
		学習課題：どうして観光をする海外の人が多くなったのだろうか？			
		<ul style="list-style-type: none"> 観光による移動が活発になる理由 活発な地域の特徴 観光消費の特徴 日本の観光の変化 	余暇時間が増える＝生活に余裕ができることで観光を目的とした移動が活発となる。また、観光目的の移動が活発になりやすい地域・国について空欄を埋める。 資料集のp.191の図を見て、地域別訪日外国人の円グラフの空欄を埋める。 →アジア：距離的に近い。 アメリカ：先進国間同士。 国際観光収支を使って、収入、支出それぞれが多い国について、特徴や具体例をまとめる。 2010年代に収入が支出を逆転する。 ●どうして、2010年代にアジア諸国からの訪日外国人旅行者が増えたのだろうか。 ☆経済が発展した、ビザが発行された ◇格安航空(LCC)が増加した。さらに、東南アジア諸国に短期観光ビザが免除された。	指示の提示、口頭の両方で伝える。 個人のち、ペアワーク。 机間巡視。 ペアワーク。 机間巡視。	a) c) c)
	15分	＜多様化する観光＞			
		学習課題：どのような観光形態があるのだろうか。			
		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな観光形態 	従来の観光形態では、自然環境や歴史のある世界遺産を巡る観光、バカンスなどがある。新しい観光であるグリーンツーリズムやエコツーリズムについて、空欄を埋めたり、写真を確認したりして知る。また、適宜資料集も使用して確認する。	具体例を提示するとともに、写真を提示する。	
まとめ	7分	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートに記入 振り返りシートの回収 	キーワードを挙げ、それらをもとにまとめたり、感想、疑問等を文章にまとめたりする。	記入する項目を前に提示しておく。机間巡視をする。	b)

9. 板書計画

- ・プリント (別紙参照)
- ・パワーポイント

【5. 観光のグローバル化】

目標：グローバル化により、観光がどう変化してきたのかを理解しよう

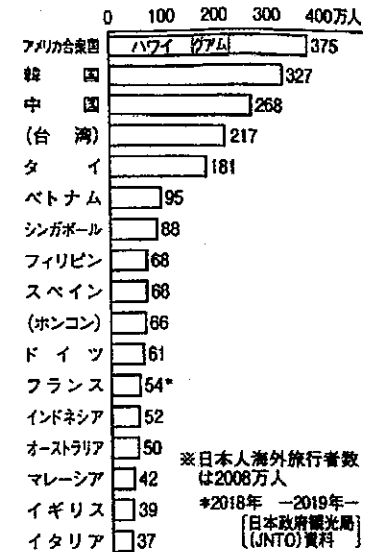
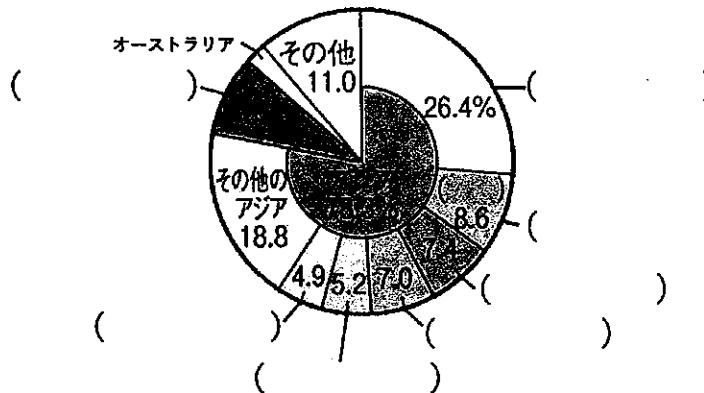
〈観光のグローバル化〉

○観光による移動が活発になる理由

- ・生活水準が向上して、余暇時間が増える→観光目的によるヒトのグローバルな移動が活発化

活発な地域の特徴

- ①(1.
②(2.



○観光消費に関する特徴

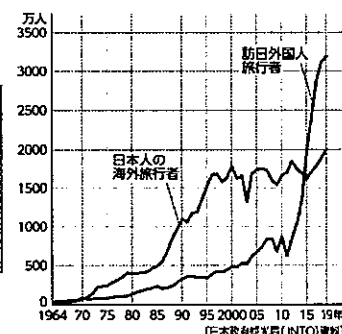
日本人旅行者渡航先(2019)

- 国際観光収支…外国人旅行者が国内で行う消費を「収入」、旅行者が海外で行う消費を「支出」として考えた指標。

国際観光収入	国際観光支出
Point：観光産業が盛んかどうか	Point：働き方や文化の違い
具体例：	具体例：

- 日本：1964年以降 海外旅行の自由化により海外旅行者数の増加 ⇒
- 2010年代以降 アジア近隣諸国からの外国人旅行者数増加 ⇒

☆2010年代以降にアジア近隣諸国からの外国人旅行者数が増加した理由を考えてみよう



〈多様化する観光〉

○さまざまな観光

- ・(3.)のように、自然景観や歴史のある文化財などをめぐる観光。
- ・バカンス…避寒地や避暑地を訪れる。
- ・(4.)…都市住民が豊かな自然に触れあうことを目的とした観光。
- ・(5.)…持続可能な環境保全への理解を深めるために、自然環境や歴史・文化を体験しながら学ぶ観光。

訪日外国人旅行者数と日本人の海外旅行者数の

5 観光のグローバル化

学習課題 グローバル化によって、観光はどのように変化したのだろうか。



↑1 バカンスで海水浴を楽しむ人々(フランス、ニース、7月)

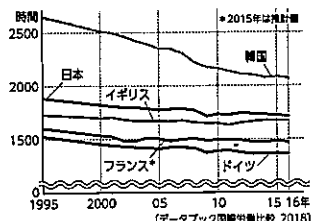
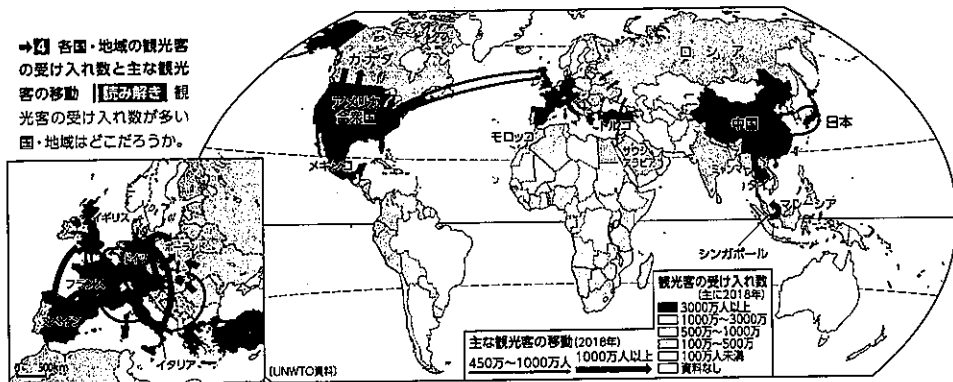


↑2 世界文化遺産に登録された富岡製糸場(群馬県、富岡市) 世界遺産に登録後、観光客が急増した。



↑3 エコツーリズムで観光をする人々(コスタリカ) 貴重な動植物や熱帯林が観光資源になっている。

→4 各国・地域の観光客の受け入れ数と主な観光客の移動 **読解** 観光客の受け入れ数が多い国・地域はどこだろうか。

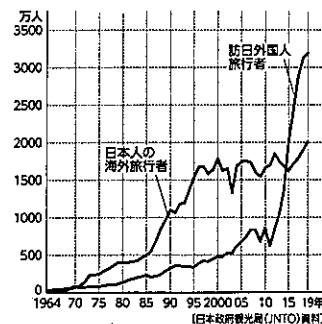


↑5 主な国の年間労働時間の推移 **読解** 日本や韓国の労働時間とヨーロッパ諸国の労働時間を比較しよう。

観光のグローバル化

生活水準が向上し、余暇時間が増えると、観光目的による人のグローバルな移動が活発化する。特に、日本・中国・韓国、アメリカ合衆国・カナダ・メキシコ、ヨーロッパの国のように、距離的に近く経済的結び付きの強い地域や、経済的にゆとりのある先進国間で、観光目的の移動が活発になっている(図4)。

世界各国の国際観光収支をみると、観光収入はアメリカ合衆国のほか、観光産業が盛んなヨーロッパなどの国々で多くなっている(図8)。一方で、観光支出は働き方や生活文化の違いを反映している。例えば、労働時間が短く(図5)、夏に長期休暇をとるバカンスの習慣があるヨーロッパの国々は(写真1)、観光支出も多い傾向にある。日本では、1964年に海外旅行が自由化され、生活水準も向上したことから、世界各国を訪れる旅行者が増加してきた(図6)。そのため、日本の国際観光収支は長



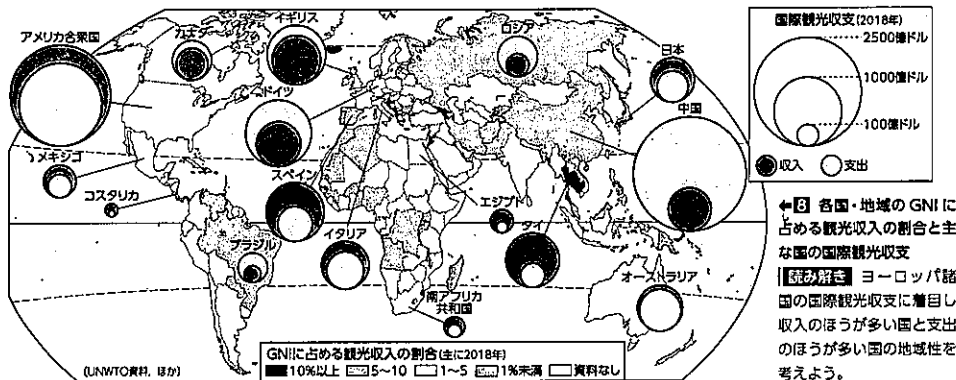
↑6 日本人の海外旅行者数と訪日外国人旅行者数の推移

世界の中の日本 増加する東南アジアから日本への旅行者

経済成長が著しい東南アジア諸国では、余暇にお金を使う人が増えた。日本と東南アジアを結ぶ格安航空会社(LCC)の運行本数が増大したのに加え、2013年以降に日本政府がタイやマレーシアなど東南アジアの国々の短期観光ビザを免除したこともあり、日本への旅行者が急増している。なかでもインドネシアやマレーシアから来る旅行者の多くはムスリムである。このため、主要国際空港でイスラームの礼拝堂の整備が進められたり、各地の観光案内所でハラールフード(→p.88)を提供する飲食店の案内が行われたりしている。



→7 観光案内所で案内を受ける東南アジアから来た旅行者(大阪府、2015年)



らく支出が収入を大きく上回っていた。2010年代はアジアの近隣諸国を中心に、日本を訪れる外国人旅行者数が急増して観光収入も増え、観光産業は重要な産業の一つになっている。

多様化する観光

ユネスコが登録して保護・保存を進める世界遺産のように、美しい自然景観や歴史を感じる文化財などをめぐる観光や(写真2)、バカンスのように避暑地や避暑地を訪れる観光は、古くから盛んである。最近では、都市の住民が豊かな自然に親しむグリーンツーリズムや、自然のなかで環境について学ぶエコツーリズムなど、新しい観光のスタイルも提案されている。例えば、貴重な動植物が生息する熱帯林が豊富にあるコスタリカは、国土の4分の1を国立公園や自然保護区に指定して、環境保護に取り組む一方で、環境に関する知識を備えたガイドの育成などによってエコツーリズムを展開し、環境保全と観光振興の両立を目指している(写真3)。

①世界遺産 世界遺産条約に基づき世界遺産リストに記載された「顕著な普遍的価値」をもつ建造物や遺跡、景観、自然のこと。文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類がある。

②グリーンツーリズム 都市住民が、農村や山村で豊かな自然に親しむことを目的とした観光の形態のこと。都市と農村の交流促進や農村地域の収入増加などの利点がある。

③エコツーリズム 持続可能な環境保全への理解を深めるために、自然環境や歴史・文化を体験しながら学ぶ観光の形態のこと。

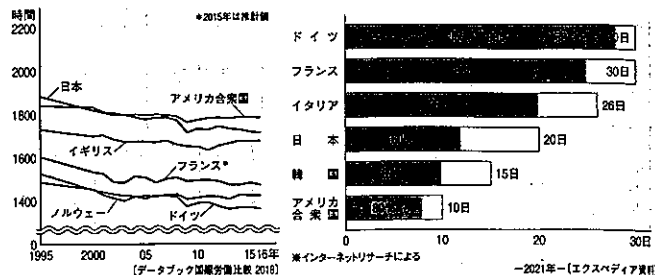
確認 グリーンツーリズム、エコツーリズムとは何か説明しよう。

深い学び 観光を活性化させる観光資源には、どのようなものがあるのだろうか。

1 労働時間の短縮と余暇の増加 **Link**▶ p.259 ⑩地中海に面したリゾート

日本では、労働生産性(労働の質)の向上や休日数の増加などにより、労働時間の短縮が進み、1990年代後半には、アメリカ合衆国などと同程度の水準にまで短縮された。また、こうした変化と連動するように、日常生活における余暇活動への関心も高まってきた。

しかし、日本の有給休暇の取得率をみると、ドイツやフランスなどの国が1か月近2の有給休暇を取得できるのに対し、日本は平均支給日数の6割にあたる12日しか取得できていない。この差の背景には、夏に長期休暇をとって休暇の時間を過ごすパカンスの習慣が根づいてるフランスなどに比べて、日本では長期休暇をとる習慣があまり根づいていないということがある。日本では、正月や盆など、特定の休日に余暇活動が集中し、このことが交通機関や宿泊施設が混雑する一因となっている。



↑①おもな国の年間労働時間の推移 ↑②おもな国の有給休暇取得状況

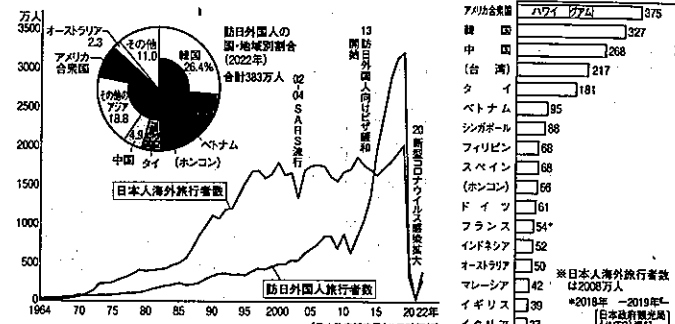
2 観光地の類型 **Link**▶ p.271 巨大都市ニューヨーク

温泉保養地型	海浜保養地型	山岳高原保養地型	自然環境保全型
<p>↑⑩温泉保養施設(ハンガリー、ブダペスト) ハンガリーの温泉は、チェスなどを楽しむ社交場としての役割ももっている。</p> <p>温泉療養(湯治)を起源とし、大衆化により宿泊施設の大規模化が進んだ。近年は小規模施設の温泉地が台頭。</p> <p>ブダペスト(ハンガリー)、バーデン・バーデン(ドイツ)、湯布院(大分県)、草津(群馬県)、箱根(静岡県)、黒川(熊本県) など</p>	<p>↑⑩ワイキキビーチ(アメリカ合衆国、ハワイ州) 19世紀末までは、ハワイ王朝の王族の保養地であった。</p> <p>海水療養を起源とし、王族の遊楽地として発達した。20世紀には大衆化し、各地にリゾートがつくられた。</p> <p>コートダジュール(フランス)、ワイキキ(ハワイ)、ゴールドコースト(オーストラリア)、沖縄県、日南海岸(宮崎県) など</p>	<p>↑⑨アルプスの登山鉄道(スイス) 雄大なアルプスの山岳地帯を走る登山鉄道。スイスを代表する観光資源にもなっている。</p> <p>19世紀後半からスキーや登山のブームを背景に発達したが、現在も避暑地または過年期リゾートとして人気。</p> <p>インターラーケン(スイス)、インスブルック(オーストリア)、軽井沢(長野県)、箱根(神奈川県)、清見(山梨県) など</p>	<p>↑⑧熱帯林を楽しむツアー(コスタリカ) コスタリカは国土のおよそ4分の1が国立公園や保護区に指定され、エコツーリズムがさかんである。</p> <p>世界自然遺産への登録などにより、自然に磨けながら環境保全の意識を高め、地域復興にもつながる。</p> <p>グレートバリアリーフ(オーストラリア)、コスタリカ、グアタマラ(グアテマラ)、白神山地(青森県・秋田県)、小笠原諸島(東京都) など</p>
歴史文化遺産型	都市文化型	地場産業型	メディア誘導型
<p>↑⑧トレヴィの泉(イタリア、ローマ) ローマ神話の神々の像が配置された人工の噴水で18世紀に完成した。</p> <p>奇史や歴史的町など、地域固有の伝統文化などを観光資源として、周辺に宿泊施設やサービスが展開。</p> <p>ローマ(イタリア)、ロマンティック街道(ドイツ)、ウィリアムズバーグ(アメリカ合衆国)、京都府、奈良県 など</p>	<p>↑⑧タイムズスクエア(アメリカ合衆国、ニューヨーク) ニューヨーク最大の繁華街。劇場やホテル、レストランなどが集中している。</p> <p>大都市に集積する多様な文化、貴重な品々ぞろぞろの専門店、テーマパークなどの観光資源が存在し、外国人観光客も多い。</p> <p>大都市に集積する多様な文化、貴重な品々ぞろぞろの専門店、テーマパークなどの観光資源が存在し、外国人観光客も多い。</p>	<p>↑⑨ぶどう狩を楽しむ家族(山梨県、甲州市) ぶどうの生産がさかんな甲州市には、ぶどう狩りが楽しめる観光農園も多い。</p> <p>地域固有の農産物や産品を観光資源として販路。行政と連携して観光開発を進める事例がみられる。</p> <p>小笠原農場(岩手県)、甲州ぶどう(山梨県)、銀杏うどん(香川県)、関あじ・関さば(大分県) など</p>	<p>↑⑩ロケ地を訪れる映画ファン(イギリス、ロンドン) 映画『ハリー・ポッター』シリーズの撮影が行われたキングズクロス駅は映画ファンでにぎわう。</p> <p>映画やテレビドラマのロケ地として知名度が高まる。観光振興のためにロケを政策的に誘致する自治体も多い。</p> <p>アニック城・キングズクロス駅(イギリス)、ホビット村(ニュージーランド)、倉庫街(北海道)、地蔵(広島県) など</p>

3 国際化する日本の観光

日本人の海外旅行者数は、所得の上昇とともに増え続けてきた。とくに1980年代後半以降は、円高による海外旅行の割安感が高まり、その数も大きく増えた。旅行先は、イベントや治安の影響で年ごとに変動する。ハワイやグアムを含むアメリカ合衆国が最も多いが、距離的に近い韓国や中国、台湾、タイ、ベトナム、シンガポールなどのアジア諸国も旅行先の上位となっている。

訪日外国人旅行者数は、2013年に以降に政府が東南アジアの国々の短期観光ビザを発給したこともあり、増加傾向にあった。しかし、2020年に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が世界中に拡大したことにより、日本への入国が制限され、訪日外国人数は激減した。その後、2022年10月には入国制限が撤廃され、現在は回復のきざみが見えている。



Link ▶ p.186 ■世界の航空交通
共通テスト対策(p.318)

↑⑩日本人海外旅行者数と訪日外国人旅行者数の推移

↑⑫日本人海外旅行者の運輸先

4 世界遺産 **Link**▶ p.83 ④世界ジオパークの登録地

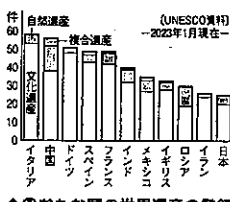
■ 世界自然遺産(5件)
 ■ 世界文化遺産(20件)
 □ 明治日本の産業革命遺産
 -2023年1月現在-

0 200km
 知床

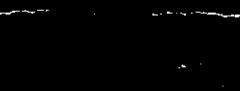


↑⑬日本の世界遺産

世界遺産条約とは、世界的にみて保存する価値がある自然や建造物などを、人類の遺産として世界の国々で共有して保存する条約で、自然遺産、文化遺産、複合遺産がある。世界遺産に登録された地域は、多くの観光客を集めるが、登録されたことにより、かえって自然が破壊されたり、建造物の破損がひどいりするなどの問題も発生している。



↑④おもな国の世界遺産の登録件数



▲の松岡白鶴博士の1957年撮影の「*Photograph of Dr. Shiro Matsuoka*」

↑⑩世界自然遺産の白神山地(青森県・秋田県)

↑⑩世界文化遺産の姫路城(兵庫県)

⑤ラム イスラーム圏からの観光客の誘致

格航空会社(LCC)の運行増大などを背景として、日本を訪れるムスリムの観光客が急増している。とくに経済成長が著しく中間層が増加している東南アジア諸国連合(ASEAN)からの観光客が多い。ASEANの人口のおよそ半割がムスリムであり、その大半はインドネシアとマレーシアの人々である。2013年に日本政府がタイとマレーシアからの短期観光ビザを免除したことも、この流れをあと押ししている。

ムスリムの観光客が増加している現状から、全日本空輸（ANA）ではインドネシア・ジャバ地区と北スマタラワ地区を中心に特別機内食としてハラールフードの提供が行われる。また、成田国際空港などの主要国際空港では、礼拝室の拡充とムスリム向けレストランも設けられている。自治体には対応する機内食も活用しつつあり、例えば、京都市では清真料理・ハラール食などに対応したムスリムの観光客向けウェブページを公開している。ウェブページ内からメッカの方向が明示されているほか、ハラール認証を受けたレストランやホテルにもホドが紹介されている。最近では、ムスリムの観光客に対して日本の文化や牛・豚や果物などの将来的な輸出拡大につなげるという動きもみられる。

[Link](#)

Link ▶ p.221 ④ 虎と宗廟



↑⑦桜を楽しむムスリムの観光客(京都府)